

風環境予測と対策の届出

(別紙 3－5)

防風植栽に用いる樹木の植栽計画及び基盤計画

※各項目には、実施設計段階の内容を記載してください。

※別紙 3－1、別紙 3－2 の防風植栽位置図に記載の番ごと整合を図ってください。同様の樹種・樹高・基礎を採用する場合は、番号をまとめて記入しても構いません。

※植栽基盤（支柱の形式、土かぶり）、及び植栽基盤と人工地盤等との関係が分かる図面（植栽部断面詳細図等）、添付してください。

特に人工地盤上への植栽を行う場合は、排水勾配や排水設備などが明記された図面としてください。各図面には、防風植栽番号に該当するのを明示してください。

番号 (予測時)	番号 (設計時)	防風植栽に用いる樹木			樹木環境		植栽時期 (予定)	植栽基盤						備考※5
		樹種	樹高 (m)		風環境※1	日照※2		採用支柱※3	土かぶり (cm)	土壌※4 ()は年度含有量	人工地盤への 植栽の有無	排水構造 ()は断面図番号	マルチングの有無	
			予測時	設計時										
㊦	①	シラカン	8.0	8.0	1	良好	5月	四脚鳥居	100	現場発生土に客土 (20%)	人工地盤	排水口を設置 (図1)	有	
㊧	②	クスノキ	10.0	10.0	1	やや不良	5月	地下支柱＋ 二脚支柱	60	現場発生土を使用 (20%)	自然地盤	自然排水 (図2)	無	

<樹木環境について>

- ※1 風環境；環境アセスメント図書の風環境の予測結果より、建設後（防風対策後のランクを記入すること。
- ※2 日照；良好（日中にほとんど日影になることはない）、やや不良（建物等の影になる時間が概ね日中の半分程度）、不良（日中のほとんどの時間で建物等の影になる）の3段階で評価すること。

防風植栽に用いる樹木の主な採用理由

樹種の採用理由	
---------	--

<植栽基盤について>

- ※3 支柱；地上支柱（二脚鳥居、四脚鳥居、ワイヤー支柱など）、地下支柱など支柱の形式を記入すること。
- ※4 土壌；現場発生土の使用の有無、土壌改良の有無などを記載すること。また、改良後の概ねの粘土含有量を記載すること。

<その他>

- ※5 備考；樹木の選定、土壌の選定時に特段の配慮を行う場合に記載すること。

防風植栽の植栽基盤の主な採用理由

植栽基盤の採用理由	
-----------	--